

節目を力にして、次の自分へ

ぜんきまつこうさ ほんとう おつかれさま ばたら かよ ひと じぶん ペース
前期期末考査、本当にお疲れ様でした。働きながら通う人、自分のペース
たいせつ を大切にしながら学び直している人、家庭や日常の役割を果たしながら
とうこう ひと ていじせい まな ひとり せいかつ
登校する人——定時制で学ぶみなさん一人ひとりには、それぞれの生活が
あり、それぞれの努力のドラマがあります。忙しい日々の中で試験を迎え、
さいご 最後までやり抜いたこと自体が、まず大きな素晴らしい成果です。

たけ 竹という植物は、途中で固い「節」を作ことで、激しい風雨にさらされても
お 折れることなく、しなやかに高く伸びていきます。学校生活における定期考査や学期の切りかえも、みなさん自身の人生における
たいせつ 大切な「節」です。「節」があるからこそ、私たちはこれまでのあゆみ たし つぎ 向かって大きく伸びることができます。今回の
けっか 結果を見て、うまくいった部分に手応えを感じている人もいれば、思い通りにいかず悔しさを抱えている人もいるでしょう。しかし、
たいせつ 大切なのは点数そのものではなく、「自分の今の立ち位置を知ること」です。できなかった課題に気づけたことこそが、次への大きな
な 一歩になります。

ていじせい まいにち へいたん みち 平坦な道のりばかりではないかもしれません。疲れを感じる日や、立ち止まりたくなる夜もあるでしょう。だ
からこそ、このがっつき ふしめ たい ぶん ぐ いちど 学期の節目のタイミングで一度立ち止まり、これまでの自分を優しく、そして冷静に振り返ってください。



「仕事と勉強の両立で、工夫できたことは何か」

「時間の使い方、もう少し改善できるところはないか」

これまでのあゆみを自分で認め、課題を整理したうえで、あたらし 新しく始
まるこうき というキャンバスに向き合ってみましょう。あせ ひつよう 焦る必要はあり
ません。自分なりのペースで、一步一步、新たな挑戦を描いていき
ましょう。せんせいが 先生方も、歩み続けるみなさんを応援しています。



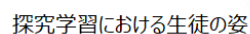
前期の経験を糧にして、後期の学習や学校生活をより充実させるための具体的なアクションです。

テストの点数だけで判断せず、
『仕事のあとの勉強時間をどう確保したか』
『提出物の計画をどう立てたか』といった
工夫のプロセスを振り返ろう。

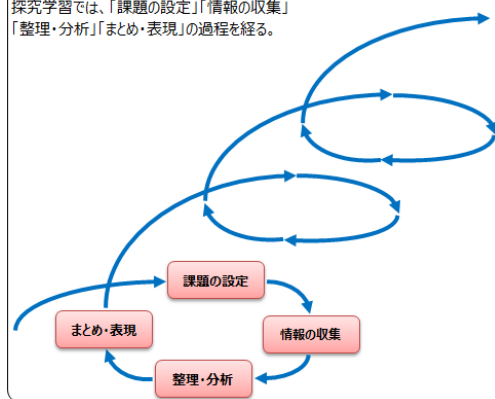
授業での学びや『探究の興味』のテーマを、
自分の関心がある分野や将来の目標、
日頃の疑問と結びつけてみましょう。
自分ごとの学びになり、理解が深まります。

『週に○日は20分だけでも教科書を開く』
『レポートや課題は提出期限の2日前に完成
させる』など、無理なく達成できる行動目標を
立て、日々の習慣に落とし込みましょう。▲

たんきゅう　　む　　じぶん　　かんしん　　か
探 究 に向 け 自 分 の 関 心 が あ る こ と　 つ き つ め て み た い こ と　 書 い て み よ う



探究学習では、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の過程を経る。



どうぞご活用ください。

